

11月～12月 家庭科の授業で、調理実習を行いました。

- さまざまな感染対策を講じた上で、今年度の調理実習を行うことができました。
- 本校では、食育教育の一環として家庭科の授業における調理実習を大切な教育活動として位置付け、毎年行っています。



- 約2年ぶりに調理実習を行うことができました。

調理室は、マドレーヌを焼いた甘い香りと皆の笑顔で満たされました。



12月8日 人権平和学習を行いました。

●信州大学教育学系より伏木久始教授を講師にお招きし、『“ふつう”という思い込みに気づく』をテーマに講演をしていただきました。



●講演では、自分や自分の価値観を大切にしながらも、同時に他者に配慮し他者との信頼関係・協力関係を良好に構築していくためのヒントになるようなお話をしていただきました。



●少人数のグループで、意見を出し合いました。

●講演会後の生徒の感想より*****

♥自分は今まで、「人と違うこと」は悪いことだと思っていたけれど、他の人もみんな「人と違う個性」を持っていることを知ることができました。自分のことを、もう一度よく考えるきっかけになったと思います。良い勉強になりました。

♥自分を大切にできない人は、周りの人のことも大切にできないこと。一人ひとりが「変な人」であり、スペシャルな存在であるということが、講演をお聴きした中で一番印象に残りました。



♥少しずつで良いから自分を出していくこと、他人と違ってても意見を言うことは大切かもしれないと感じました。

♥1人ひとりの個性を見つつ、「みんな同じ」をなるべくやめようと思いました。「みんな同じだから自分も」って考えもやめたいと思います。

♥自分の意見も、他の人の意見もこれからはもっと聴く耳を持っていきたいです。

♥時には、自分の行動や考え方に嫌だなと感じることがあり、勝手に落ち込んだりしていたけれど、今日の講演をお聴きして、どんな自分も尊重しようと思えました。今よりも、もっと視野を広げてみようと思います。

♥それぞれが、自分なりの考え方や捉え方があるので、皆が同じではない（一人ひとり個性がある）ことを知ることができて良かったです。とても興味深い話ばかりでおもしろかったです。

♥自分なりの考え方や捉え方を持ち、相手や自分の意思を尊重していくことが大切だと思いました。

